



平成25年3月14日(木)

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

— 記者発表資料 —

新4号国道の上三川町上蒲生地区の 約1.0kmが、3月21日(木)に6車線 になります。

国土交通省宇都宮国道事務所では、より安全で円滑な交通を確保するために、国道4号のバイパス部(新4号国道)における6車線化事業を進めています。

このたび、上三川町上蒲生地区の区間が6車線になります。

これにより、石橋宇都宮バイパス全線L=18.7kmが6車線化されることとなります。

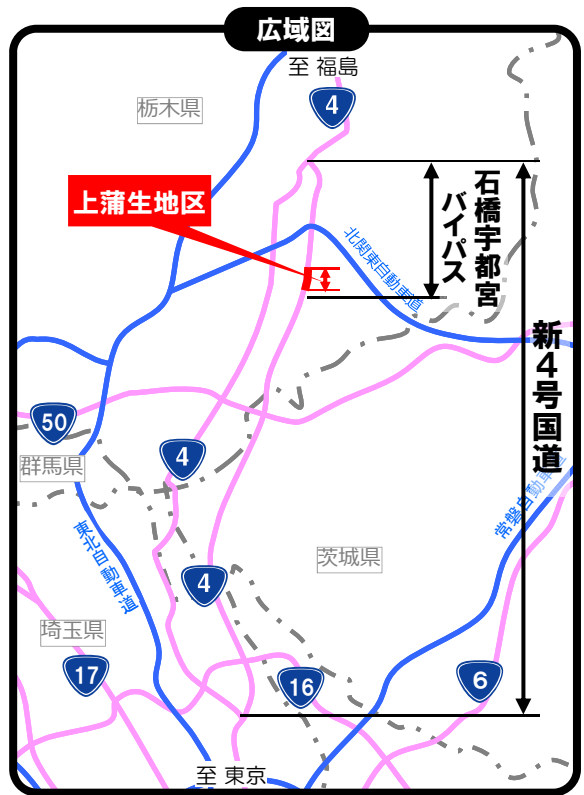
【開通日時】

平成25年3月21日(木) 12時～

【区 間】

上三川町上蒲生地区(約1.0km)

※引き続き、新4号国道の6車線化に向けた整備を進めて参ります。



発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会
栃木県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 宇都宮国道事務所

電話 028-638-2181(代表)

副所長 清水 信男 工務課長 原 清次

今回の開通区間について

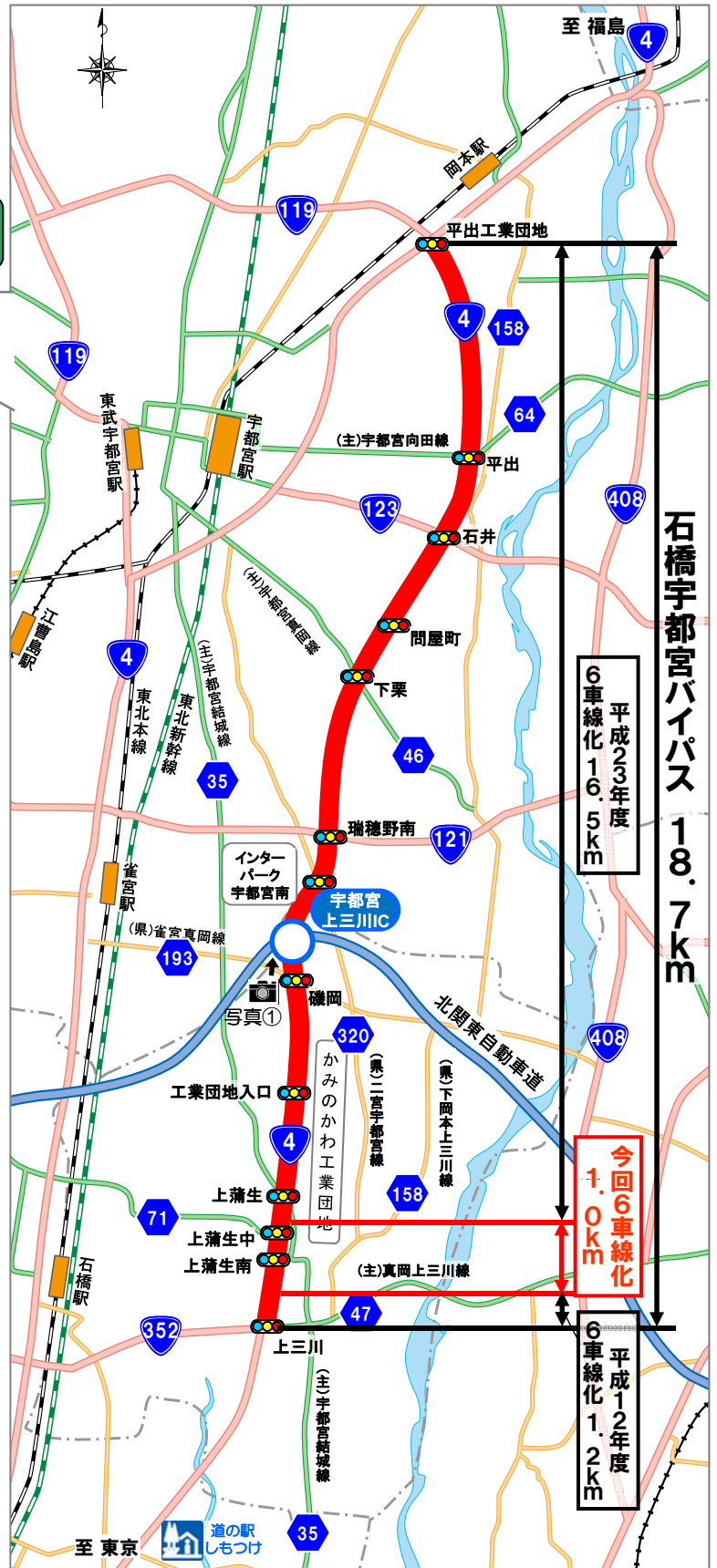
【今回開通区間】



①宇都宮上三川IC付近(福島方面を望む)



平成24年3月撮影



石橋宇都宮バイパスについて

■計画概要

新4号国道は、埼玉県越谷市を起点とし、宇都宮市に至る80.5kmの道路です。

石橋宇都宮バイパスは、栃木県河内郡上三川町下蒲生から宇都宮市平出工業団地に至る18.7kmの区間で国道4号・121号（宮環）・123号及び北関東自動車道と接続します。

昭和45年度より事業に着手し、昭和59年度に全線を暫定2車線で供用しました。

その後、交通需要の増大に対応するため、交差点立体化、4車線化の整備を進め、平成12年度に北関東自動車道の供用に合わせて全線が4車線になりました。その後、6車線化の整備を進めてきましたが、今回の平成25年3月21日の約1.0kmの開通をもって、全線6車線が図られることになりました。

【位置図】

